

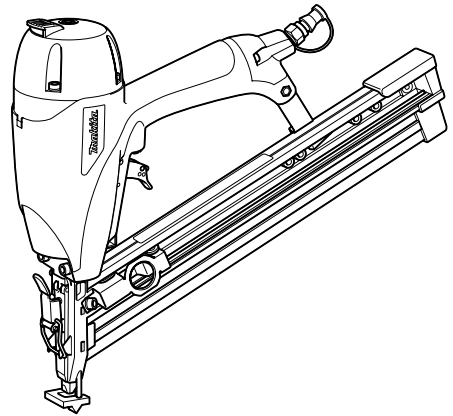
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

仕上釘打

モデル AF634



このたびは**仕上釘打**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

モデル	AF634
主要機能	
使用空気圧力	0.44 ~ 0.83MPaG (4.5 ~ 8.5kgf/cm ² G)
使用釘	ブラッドネイル 32 ~ 64mm
釘装てん数	100本 (2連)
質量	2.1kg
機体寸法	長さ 372mm × 幅 82mm × 高さ 308mm
使用ホース内径	φ6.5mm 以上

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPB117-2

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 機械の取扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、**機械を使用しないでください**。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. **保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください**。
 - ・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. **揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください**。
 - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. **釘打ち作業以外の用途には使用しないでください**。
 - ・ 事故の原因になります。
6. **機械に刻印や溶接等の改造をしないでください**。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. **動力源は圧縮空気を使用してください**。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. **圧縮空気の圧力は0.44 ~ 0.83 MPa (4.5 ~ 8.5 kgf/cm²) の範囲内で使用してください**。
 - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. **安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください**。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. **足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください**。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. **屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください**。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. **近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください**。
 - ・ 打ち損じの釘や釘の連結片などがあたりけがをする原因となります。
13. **壁の内、外側からの同時作業はしないでください**。
 - ・ 釘が突き抜れたりそれたりしたとき、事故の原因になります。

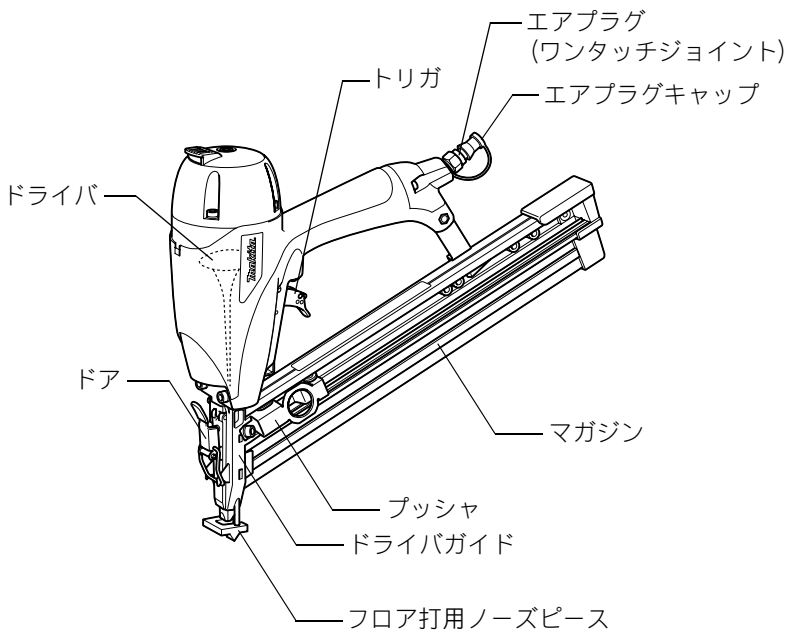
⚠ 警告

14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
18. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。
 - ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、機械を持って移動する場合。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、機械に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、機械が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 機械及びコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 機械の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすくとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めの販売店またはお近くの弊社直営事業所にお申しつけください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品

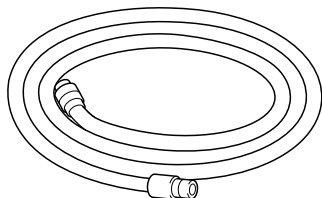


標準付属品

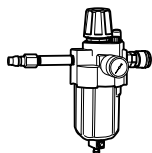
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 油サシ
- ・ 平打用ノーズピース
- ・ ノーズキャップ
- ・ 六角棒レンチ 4

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。
- ・ エアホースアッセンブリ（ワンタッチジョイント付）
内径 φ 6.5mm ×長さ 20m



- ・ エア3点セット
部品番号 A-13041



- ・ ブラッドネイル

長さ (mm)	部品番号	梱包本数
32	A-41517	3655 本
38	A-41523	
45	A-41539	
50	A-41545	
57	A-16776	
64	A-41567	

使い方

安全装置の確認

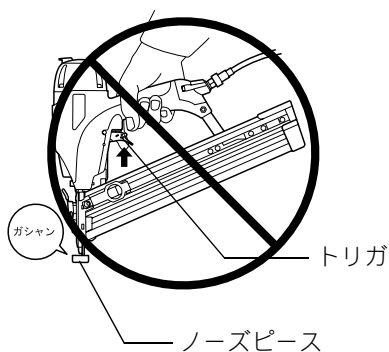
⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

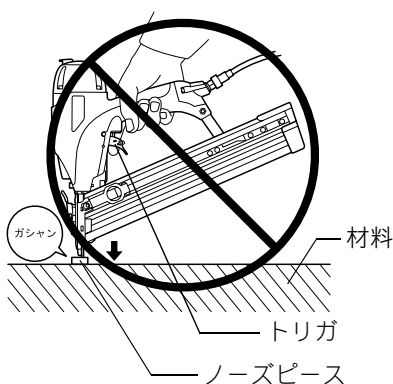
・ そのまま使用すると、事故の原因になります。

- ・ 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。
 - 1 作業にはいる前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
 - 2 本機にエアホースを接続します。
 - 3 A の様にトリガを引いただけで本機が作動する場合や、B の様にトリガから指を離し、ノーズピースを材料に押し当てただけで本機が作動する場合は、安全装置が異常です。

A



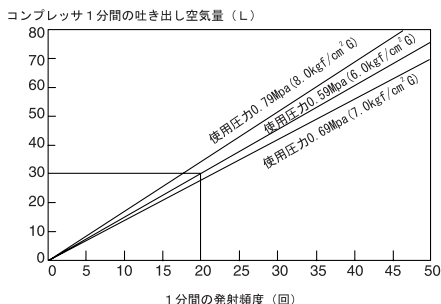
B



使い方

コンプレッサの選定

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。
- ・ 右図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が0.69MPaG(7.0kgf/cm²G)で発射頻度が1分間に約20回ですと、吐出し空気量30L/min(L/分)以上のコンプレッサが必要です。



エアホースの選定

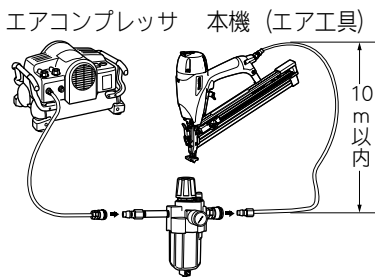
- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。※内径 φ6.5mm 以上、長さ 20m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

- ・ 釘の発射頻度に比べコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

エアセット (別販売品) について

- ・ エアセットをご使用頂きますと、本機の作動性と防錆性を長期間最適の状態に保つことができます。
- ・ ご使用の際は、エアセットから本機までのエアホースの長さをおおよそ10m以内としてください。オイルの油の滴下の量は50回打ち込むごとに1滴約(0.02mL)の割合で調整してください。
- ・ エアセットのオイルを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回発射してください。油が本機全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。



使い方

釘の装てん

⚠ 警告

釘を装てんする場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。

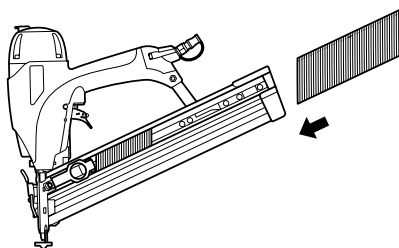
- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

⚠ 注意

プッシャは必ず手でゆっくりもどしてください。

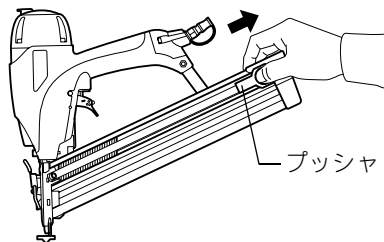
- ・ プッシャを急にはなしますと、バネの力によりプッシャが勢いよく戻り、けがの原因になります。又、釘の連結が変形し、釘づまり等の原因になります。

- ・ 用途に合わせ釘を選定します。本機よりエアホースがはずしてあることを確認してください。
- ・ 釘はマガジン後方から入れます。(2連の釘が装てんできます。)
- ・ プッシャに指をかけてマガジン後端まで引っ張り、静かに戻します。これで釘の装てんが終了しました。



注

- ・ 釘や釘の連結が変形したものは使用しないでください。指定の釘を使用してください。
- ・ 指定以外の釘を使用しますと、釘づまり、故障の原因になります。



使い方

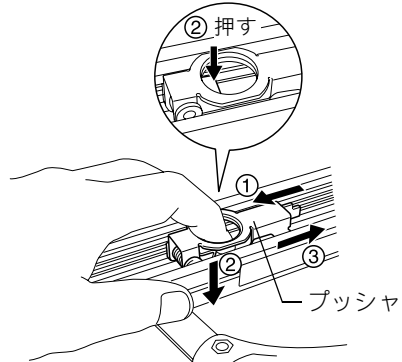
釘の取り出し方

⚠ 警告

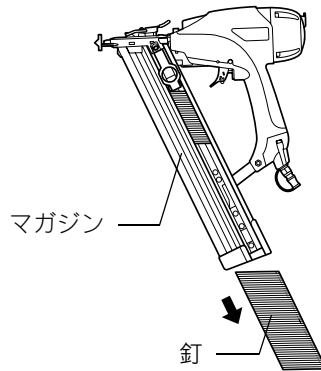
釘を取り出す場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

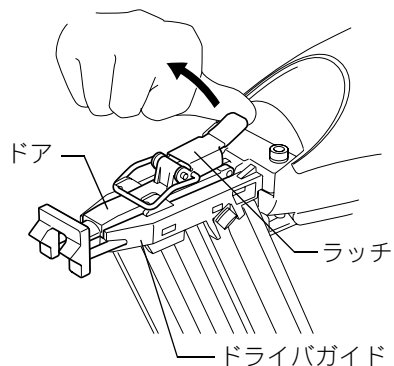
- ① プッシャに指をかけ、少し引き降ろします。
- ② 指で下に押さえます。
- ③ 下に押さえながらプッシャを一番上までもどします。



- ・ マガジン後端より釘を取り出します。



- ・ 本機は最後に残った釘を安定させて打撃することを目的としてドアにマグネットが付いています。そのため、取り出す釘の本数が、約 10 本以下になると、取り出しづらくなる場合がありますので、その時はドアを開き、ドライバガイド側から釘を押して、マガジン後端より取り出してください。



使い方

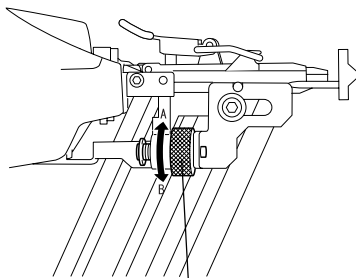
釘の打ち込み深さの調整

⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ 作業を始める前に、エアホースをはずしてください。
- ・ 打ち込み深さ調整用アジャスタを回して調整します。
- ・ 打ち込み深さはA方向に回すと深くなり、B方向に回すと浅くなります。



打ち込み深さ調整用アジャスタ

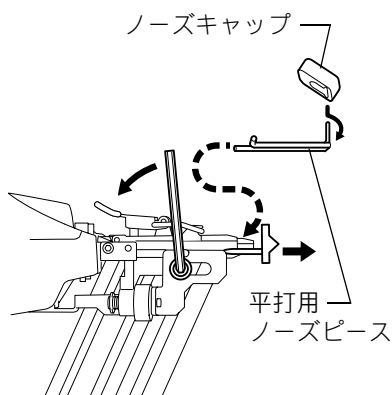
ノーズピースの交換方法

⚠ 警告

作業にはいる前に本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

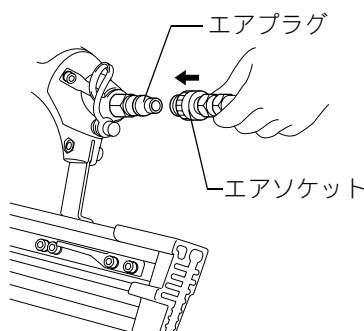
- ・ 本機には平打用ノーズピースが取り付けできます。
- ・ 六角棒レンチ4でボルトをはずしフロア打用ノーズピースをスライダから取り外し、付け替えてください。
- ・ 化粧材や軟らかい材料への作業のときは平打用ノーズピースの先端にノーズキャップを取り付けて使用してください。



使い方

エアホースの接続

- ・ 本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。

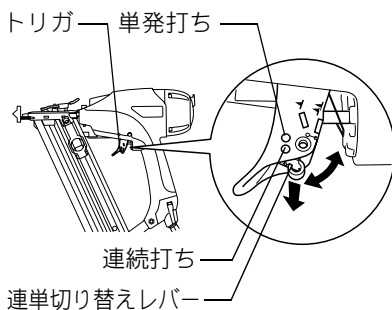


打ち込み方法について

- ・ ノーズピースを材料に当ててからトリガを引き打ち込む方法（単発打ち）とトリガをあらかじめ引いておいて、ノーズピースを材料に当てて打ち込む方法（連続打ち）の2つの方法があります。
- ・ 単発打ちは断続的ですが正確な打ち込み位置や、釘の頭と材料との面位置を合わせる必要があるときに使用します。
- ・ 連続打ちは連続作業に適しています。

連続打ちと単発打ちの切り替え方法

- ・ 本機は打ち込み対象物によって効果的な使い方ができるように連単切り替え機構を装備しています。
- ・ トリガに付いている連単切り替えレバーを指で押さえながら左右に移動させ切り替えます。上の穴に突起部が入っているときは単発打ち、下の穴に入っているときは連続打ちとなります。
- ・ このとき切り替え位置の穴に突起部が確実に入っていることを確認してください。
- ・ 作業内容により連続打ちと単発打ちとを切り替えて使用してください。



使い方

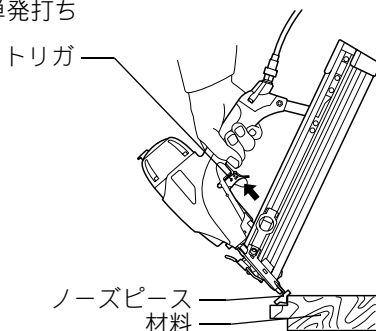
打ち込み方法

(1) 単発打ち

⚠ 注意

単発打ちでも、トリガは素早く、確実に引いてください。トリガを素早く確実に引かないと、打ち込み時の反動で連続打ちをすることがあります。

- ・ 連単切り替えレバーを単発打ちに 単発打ち
セットします。
- ・ ノーズピースを材料に当ててからトリガを
引き打ち込みます。
- ・ トリガをすばやく確実に引かないと打ち
込み時の反動で連続打ちすることがあります。

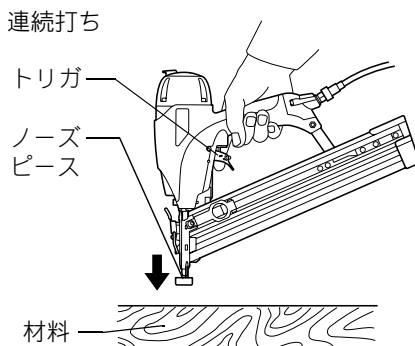


注

- ・ 化粧材への打ち込み作業、フローリング（床張り）作業など仕上げを重視する場合は必ず単発打ちで使用してください。

(2) 連続打ち

- ・ 連単切り替えレバーを連続打ちに
セットします。
- ・ トリガをあらかじめ引いておいて
ノーズピースを材料に当てて打ち
込みます。
- ・ 連続打ちは連続作業に適しています。
ノーズピースを平打用ノーズ
ピースに交換すると平打ちする
場合に便利です。



注

- ・ 本機は、釘の残り本数が0～2本になると、空打ち防止機構が作動します。
- ・ プッシャをマガジンの後方へ引くと空打ち防止機構が無効になり本機は作動可能となります。
- ・ 釘が材料に入りすぎたり、浮いたりする場合は、釘の打ち込み深さ調整の項目を参照してください。

使い方

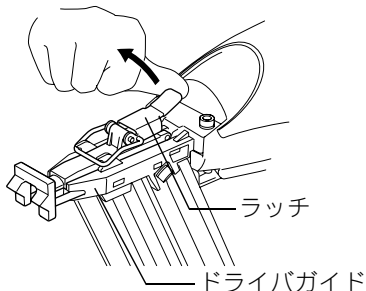
釘まりの直し方

⚠ 警告

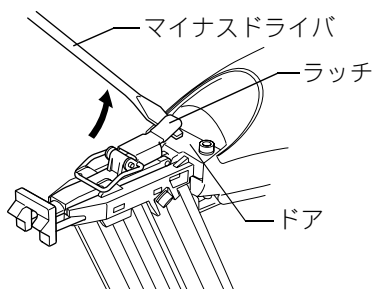
作業に入る前に本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

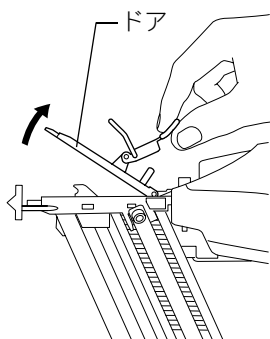
- ・ 釘をマガジンより抜き取ります。
- ・ ドライバガイド上部にあるラッチを手で引き上げます。



- ・ 手でラッチが引き上げられない場合は、ラッチとドアのすきまにマイナスドライバなどを差し込み、こじ開けてください。

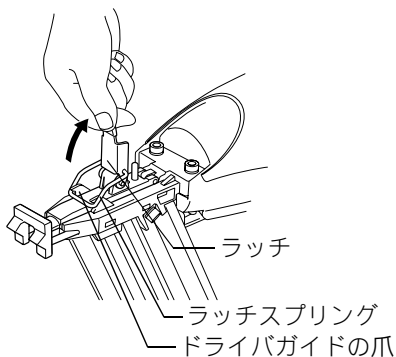


- ・ ドアを開き、つまった釘を取り除きます。



使い方

- ・ ラッチスプリングを、ドライバガイドの2つの爪に引っ掛け、ラッチを押し戻します。

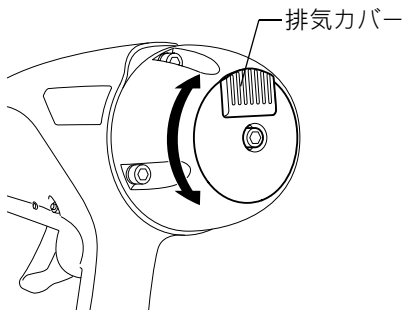


注

- ・ ドライバ (P5 参照) の先端が摩耗すると、釘づまりや釘浮きが発生しやすくなります。釘づまり、釘浮きが多発するようでしたら修理に出してください。

排気方向について

- ・ 排気カバーは回転しますので、お好みの方向に調整してください。



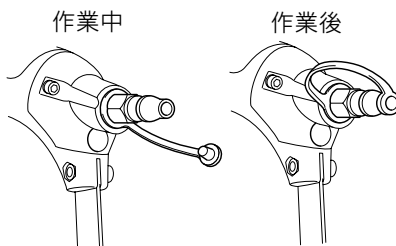
保守・点検について

コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアセットのオイル内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、Oリングの早期摩耗の原因となります。
- ・ エアホースは熱(60℃以上)、薬品(シンナー、強酸、強アルカリなど)および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

作業後の保管

- ・ 使用しないときにはエアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 長時間使用しないときは防錆のため摺動部にマシン油などを塗布し、保管してください。
- ・ 湿気が多い所、日光の当たる所、粉塵の多い所は避けて保管してください。



注

- ・ 本機内にゴミやほこりなどが入ると、故障の原因になります。

純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了時に最良の状態を保つために空気取り入れ口より付属のタービン油を数滴注油してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)